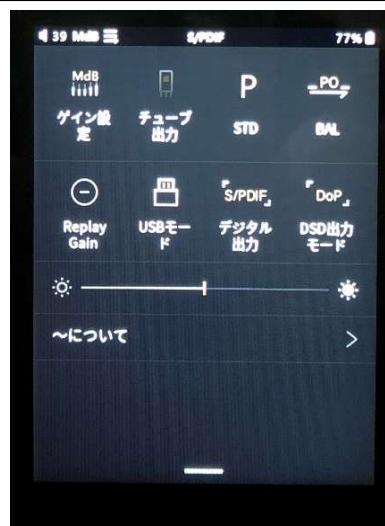


Cayin N8 プルダウンメニュー補足説明

- a). ゲイン設定
 - b). チューブ/トランジスタ
 - c). STD
 - d). BAL
 - e). Replay Gain
 - f). USBモード
 - g). デジタル出力
 - h). DSD出力モード
- a) b) c) d)
e) f) g) h)



- a). ゲイン設定

現在のCayinのデジタル・オーディオ・プレーヤー（以下DAP）はソフトウェアによってDACの出力レベルもしくはデジタルボリュームをコントロールします。ゲイン設定は下記3種類となります。

*設定中のゲイン設定はスクリーン上部左ボリューム値の隣に表示されます。

- ・ HdB: High
- ・ MdB: Mid
- ・ LdB: Low

それぞれ（High/Mid/Low）のインピーダンス基準値についてお問い合わせいただくことがございますが、インピーダンスマッチングを行う機器の場合と異なり、本機のゲイン設定はお使いのイヤホンもしくはヘッドフォンのインピーダンスと感度の組み合わせが影響するため、インピーダンス基準値の指標はございません。ご使用のイヤホンもしくはヘッドフォンに応じて適切なゲイン設定をお選びください。私たちの経験上、高感度ローインピーダンスのイヤホンをご使用の際はLowをまず選択することをおすすめします。また、低感度ハイインピーダンスのイヤホンもしくはヘッドフォンをご使用の場合は、Highを選択することをおすすめします。ご参考までに、目安としてLowでボリューム値80～100の場合は、MidもしくはHighをお試しいただきご自身の趣向とイヤホンまたはヘッドフォンに合わせて最適な設定でお楽しみください。

b). チューブ/トランジスタ

フォンアウト3.5mmアンバランス接続時は、2種類のアンプ回路選択が可能です。
一つ目はKORG社製Nutube 6P1のTube出力、
もう一方はトランジスタ（Solid State）出力です。

チューブ出力モードについて

チューブ出力モードはN8の特別な特徴となります。

チューブ出力モードでは、温かみがありかつ深みのある広々としているだけでなく
透き通った壮大な音場のサウンドを奏でる傾向があります。

特におすすめのジャンルはヴォーカル、Jazz等となります。

もしもミッドレンジが不足していると思われるヘッドフォンがありましたら
ぜひチューブ出力をお試しくささい。不足していると思われたミッドレンジと音質が
改善されるケースがあります。

トランジスタ（Solid State）について

N8のトランジスタ（Solid State）はバランス制御を行い、どのような音場、
ダイナミックな表現、繊細さ、密度にも対応するよう設計しています。

これにより通常駆動することが難しいイヤホンもN8なら十分に駆動することが
できることがあります。

特におすすめのジャンルは、インストゥルメンタル、ポップス、アニメ、
おすすめの楽器は、ピアノやヴァイオリンとなります。

c). STD

P+モードでは、アンプ回路のボルテージを変えることで出力を上げて
ハンドリングパワーを高めます。

P+モードについて補足説明

- ・ ボリュームの変化でなくパワー（駆動力）の変化となります。
- ・ 標準的なイヤホンはPモードで駆動します。重要な点はボリュームを上げると
パワー（駆動力）も上昇します。
- ・ ハイインピーダンスのヘッドフォンは高い駆動力を必要とします。
このような場合、たとえボリュームを上げて音量は取れてもヘッドフォンを
鳴らしきれていない場合があります。
このような時は、P+モードに切り替えることをおすすめします。

下記の場合は、P+の選択をおすすめいたします。

- ・ インピーダンス100Ω以上のイヤホンまたはヘッドフォン
- ・ 平面駆動タイプのイヤホンまたはヘッドフォン
（例：AUDEZ'E LCDi4, Unique Melody ME1, 等）

d). BAL

4.4mmバランス接続端子は、フォンアウトとラインアウト機能を共有しています。
フォンアウト4.4mmバランス接続時はPO、
ラインアウト4.4mmバランス接続時はLOをお選びください。

注意: SAFE LISTENING

フォンアウト4.4mmバランス接続でご使用の際は、必ずPOに設定していることを
ご確認ください。

4.4mmフォンアウトご使用時に誤ってLOに設定されていると、最大ボリュームで
出力されますのでご注意ください。

e). Replay Gain

リプレイゲイン機能となります。

ONに設定すると、各再生楽曲の音量を平均化して再生します。

f). USBモード

USB接続時のUSBモード（データ転送）もしくはDACモードの切り替えとなります。

g). デジタル出力

S/PDIFもしくはI2Sの切り替えを行います。

h). DSD出力モード

NATIVEもしくはDoPの切り替えを行います。

Last updated:2019/02/04